

1 活動名 松江城の世界遺産登録に向けた取組みについて（松江市）

2 調査の目的

(1) 本市における課題

松本城の世界遺産登録に向けて取り組まれているが、前進が見られない。

(2) 調査の必要性

国宝5城（松本城、姫路城、犬山城、彦根城、松江城）を中心とする近世城郭群を連続性のある資産群として捉え、姫路城の拡張登録を念頭に世界遺産登録を目指すには松江市の取組みを調査する必要がある。

(3) 調査項目

松江城の世界遺産登録への取組みについて。現地視察。

3 調査地選定理由

(1) 島根県松江市

松江市では、平成27年7月松江城天守が国宝に指定されて以来、本市の呼びかけにより、松本市、犬山市と共に「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」を設置し取り組んでいるため。

4 調査結果

(1) 実施日 2018年8月6日～8日

(2) 出席者 6名 青木豊子、芝山稔、上條温、青木崇
川久保文良、井口司朗

(3) 松江市（2018年8月7日）

松江市 歴史まちづくり部 資料編纂課 松江城調査研究室 山本さんから説明を受けた。

松江城は1607年築城が開始され、1611年天守閣が完成。1875年廃城令後、競売により払い下げが決まるも旧松江藩士や豪農ら有志の奔走により天守は取り壊しを免れる。1927年松平家から松江城が松江市に無償寄付される。1935年国宝保存法（旧法）により国宝指定。1950年文化財保護法施行により重要文化財に指定。同年6月から1955年まで昭和の大修理（全解体による根本工事）。2010年松江城調査研究委員会設置。2012年松江神社で祈祷札が再発見される。2015年7月8日国宝指定された。

構造は、四重五階地下一階付、南面附櫓一重。附櫓を全面に備えた複合式天守、天守構造は望楼型天守に分類される。全高約30m（天守高22.43m＋平均石垣高7.57m）一階面積444.23㎡ 延べ面積1,784㎡。

一方松本市は、2008年3月松本・犬山・彦根3市で（仮称）国宝四城近世城郭群研究会を設置し、2012年3月に松本・犬山・彦根3市で「国宝四城世界遺産登録推進会議準備会」を設置し、活動をしていたが、2014年6月彦根市が単独登録向け準備会不参加を決定し離脱した。2015年7月8日に松江城天守が国宝指定されたのを契機に、2015年9月29日に松本市が松江市を訪問し、準備会への参画要請をした。2016年4月1日「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」を設置し規約の改正をした。準備会の構成は、会長に松本市の文化スポーツ部長、副会長に犬山市の

教育部長、監事に松江市の歴史まちづくり部長があたっている。同年5月12日に松本市で第1回準備会を開催した。第2回~第4回の準備会を経て、2017年9月16日に松本・犬山・松江3市長と西村日本イコモス国内委員会委員長との懇談が松本市で開催された。2017年7月平成29年度第1回ワーキンググループを東京で開催。2018年2月第2回ワーキンググループの開催と5月の第7回準備会を経て、2018年6月5日に3市長による文化庁長官への要望書提出となった。

「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」は年1回の総会を開催し予算、事業計画、決算などの決定をし、基本方針や具体的な戦略の決定、提案書原案の作成には高度な専門知識が必要なため、専門家によるワーキンググループを設置した。日本イコモス国内委員会関係者を選任し、具体的なコーディネートや運営は、日本イコモス国内委員会の事務局である(株)文化財保護計画協会へ委託業務としている。

今後の課題としては、○世界遺産姫路城の拡張登録が基本戦略であり、姫路市、彦根市の理解と協力が不可欠。○関係各県、各市を包括した総合的な推進体制の構築。○地元のお城の愛護団体の育成とネットワーク化による機運の醸成。○暫定一覧表見直しの早期実現と国主導による暫定一覧表への記載。の4点をあげていた。

(4) 成果・所感等

1993年12月11日に世界遺産登録された姫路城と1992年10月に暫定一覧表に掲載されている彦根城の両市からの協力が不可欠と思うが、ハードルは高いと感じている。「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」ワーキンググループからの提言に沿っての取り組みが必要と思う。松江市では、平成24年5月に祈祷札2枚が発見され、慶長16年(1611年)の完成が明らかになった事。近世城郭最盛期を代表する荘重雄大な四層五階の天守である事。通し柱による構法や包板の技法など、松江城独自の特色がある。等の評価により平成27年7月に「国宝」に指定されたばかりであり、世界遺産登録にはあまり積極的ではないと感じた。島根ふるさと館で買い物をしたのだが、売店で働く松江市民も世界遺産登録は国宝になったばかりでありピンと来ていない様子であった。松本市としては、強力なリーダーシップを発揮し、あらゆる手段をこらして行かなければ、世界遺産登録は難しいと感じた。又、現地視察を行ったが、お城を中心の街づくりがされていて、松江歴史館や島根県物産観光館等が隣接されていた。本市の参考になるところが多々あった。